

若手が~~ついてくる~~仕事の仕方  
に~~老害と思われない~~  
と気軽に話せてお互いにうれしい

2013年7月4日

JANOG32 Meeting パネルセッション  
株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

森下 泰宏

@OrangeMorishita

# 自己紹介と簡単な経歴

- 自己紹介:「**重複をお許しください**」の人
- 1990年から**DNS**やっています
  - 最初に触ったBINDは**4.8.3**でした
- 2000年3月まで:システムとネットワークの運用
  - 某SI会社/WIDE Project ⇒ 某大学 ⇒ JPNIC
  - L1から~~L7~~まで=~~マルチ~~スタックエンジニア  
L9 古
- 2006年8月まで:DNS関連の技術研究
  - JPNIC ⇒ JPRS(転籍)
  - RFCも書きました(RFC 4074、共著)



©Evi Nemeth

# 現在の私

- 2007年～現在：技術広報担当
  - 主に物書き(手)とプレゼン(口)で生きてます
- 既に現場を離れて長いです
  - 運用者でなくなって10年以上経過しています
  - 研究者でなくなって5年以上経過しています
- 英語の技術系ML、かなり捨てました
  - IETF関連の多くのML、NANOG MLなど
- そんな私が今日ここで何を語るべきか・・・

# 自分なりに心がけている二つのこと

- 若手に教えて~~もらう~~  
もらえるようにする
- 若手と気軽に~~話す~~  
に 話してもらえるようにする

そのために心がけていることは？

# 自覚・共有・そしてわずかのハッタリ

- もう若者ではないということを自覚する
  - でも、必要以上に卑屈にならない
- 自分の経験や情報はすべて共有する
  - でも、経験のお仕着せは絶対しない
- ハッタリのみにならない程度にはがんばる
  - 「捨てている」ところを明確にする
    - でも「押えるところは押えてるんだぜ」と思わせる
  - そのための努力は怠らない
    - 例: 「ここから先はこれ見ればわかる」ところまで

# めざしている落としどころ

- 「**気軽に**話せる」「**ちょっと変な**」「**すごい人**」
- おかげさまで当社では、みんな気軽に情報入れたり、相談したりしてくれています
  - 一定の敬意も払ってくれているようです(**思い込み**)
  - 私がライン上じゃないからできてるのかもしれませんが
- 私にとってかなりこわい二つの言葉
  - 「あの人には**言ってもしょうがないし**」
  - 「あの人は**もう技術者じゃないから**」
- そうした言葉は得てして本人に伝わってきません
  - 実は**既に言われている**のかも・・・

# そんなわけで・・・

- 私はもう「現役バリバリの技術者」ではありません
- でも、技術者であることは辞めていません
  - 日々「普及」とか「布教」とか「拡散」をしています
  - そんなポジションにいられる(いさせてもらえる)のは、たぶんとても幸せなことなのだなと思っています
- 幸運にも、活きのいい若手たちに囲まれています
  - 社内でも、そして社外でも
- そんな若手たちと、これからもお互いにごんばりあえるとうれしいなと思っています
- 私もがんばりますので、皆様よろしく申し上げます

# Thank you!

